

**「取組と目標」に対する自己評価 令和5年度実績評価シート
(角田市)**

タイトル	自立支援・介護予防の強化
-------------	--------------

1 第8期介護保険事業計画に記載された内容

現状と課題			
<p>〔現状〕</p> <p>○自分自身の健康状態が「良い」と回答している人が7割となっており、健康づくり活動等への参加状況・参加意向が高い。</p> <p>○足腰の痛みや交通手段が確保できない等により外出を控えている人も一定数いる。</p> <p>〔課題〕</p> <p>○健康づくり活動等の新規参加者や活動を支える人材と活動に参加するための移動手段の確保が求められる。</p>			
第8期における具体的な取組			
○一般介護予防事業の推進			
目標（事業内容、指標等）			
①一般介護予防事業の推進			
ア. 介護予防把握事業			
新規介護申請初回相談などの中で、必要な支援やサービスにつなげられるように支援します。			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対応実人数（人）	500	500	500
イ. 介護予防普及啓発事業			
地域の出前講座で介護予防活動を展開する。			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地区介護予防教育受講者数 (人/年)	700	700	700
地区介護予防教育回数（回）	35	35	35
目標の評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> ■ 中間見直しあり □ 実績評価のみ ● 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規介護申請相談対応件数を計上（毎月の相談人数を集計） ・ 出前講座実施状況（開催回数、延べ参加者数を計上） 			

2 第8期実績

第8期における実施内容及び自己評価結果

※自己評価の基準：達成率 80%以上◎、60-79%○、30-59%▲、29%以下×

一般介護予防事業の推進

① 介護予防把握事業

新規の相談のあった方に対して、地域包括支援センター職員が対応し、介護保険の申請や介護予防・日常生活支援総合事業、その他の福祉サービスなどの利用について情報提供し、適切なサービスにつながるよう支援しました。

数値区表	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
対応実人数 (人)	500	647	129.4%	500	427	85.4%	500	468	93.6%

<対応内訳>

内訳	対応人数 (人)	初回相談対応結果（延べ人数）					計
		介護認定 申請	総合事業	福祉 サービス	情報提供	その他	
令和3年度 (実績値)	647	286	13	2	75	284	660
令和4年度 (実績値)	427	284	6	3	22	113	428
令和5年度 (実績値)	468	316	10	10	31	107	474

※「福祉サービス」…配食サービス、生きがいデイサービス、軽度生活援助などの健康長寿課で実施している事業。

※「情報提供」…来所した際に介護保険の説明、福祉サービスの説明、その他民間事業所等で実施しているサービスについての説明、情報提供。

※「その他」…地域包括支援センターで実施している認知症カフェやいきいき百歳体操などの介護予防事業、社会福祉協議会で行っている福祉用具貸与事業やサロン活動、事業所等での自費サービスなど。

【令和5年度自己評価結果：◎】

・相談時に話を伺うことで、利用者の状況を把握することができ、介護保険サービスだけでなく、必要な福祉サービスや対応方法を一緒に考えることが可能になるとともに、必要な時期からサービスを利用し始めることができるようになりました。

② 介護予防普及啓発事業

介護予防についての基本的な知識の普及を図るため、自治センター等において、かくだ市政出前講座として介護予防に関する教育・相談及び広報誌掲載で周知しました。

数値目標	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
地区介護予防教育受講者数(人/年)	700	149	21.3%	700	56	8.0%	700	139	19.9%
地区介護予防教育回数(回)	35	5	14.3%	35	4	11.4%	35	10	28.6%

実施内容	
依頼団体	主な内容
JAみやぎ仙南、老人会、自治センター、高齢者サロン、シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策について ・フレイル予防について ・認知症予防について ・感染症対策について

介護予防に関する広報活動

掲載回数	項目	主な内容
各年度3回	広報かくだ・自治センターだより	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防活動グループ等の紹介 ・認知症サポーター養成講座の紹介 ・「おしゃべりカフェ(認知症カフェ)」事業紹介 ・「ついでにお得コツコツ活動」事業紹介

【令和5年度自己評価結果：×】

・令和3年度及び4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で団体活動が制限されました。令和5年度には5類感染症に移行され団体活動も徐々に再開されつつありますが、かくだ市政出前講座の実績が伸びませんでした。

課題と対応

介護保険申請相談に来る前の段階で、介護予防の支援を必要とする方を把握し、専門職から健康づくりの知識を学び、介護予防活動につながる体制を強化します。

「取組と目標」に対する自己評価 令和5年度実績評価シート
(角田市)

タイトル	地域包括ケアシステムの深化・推進
------	------------------

1 第8期介護保険事業計画に記載された内容

現状と課題																				
<p>〔現状〕</p> <p>○介護が必要になっても、サービスや家族による介護を受けながら自宅で暮らしたいという人が多くなっています。</p> <p>○地域にあったら良いと思う手助けについて、「見守り・声かけ」「話し相手」「外出時の支援」が多く、地域での支え合い体制の強化が必要です。</p> <p>〔課題〕</p> <p>○リハビリテーション専門職等と連携しながら、地域において自主的な介護予防活動が進められているものの、高齢化の進行等により、活動を継続していくための新規参加者やサポーターの確保が必要です。</p> <p>○介護予防に対する高齢者の興味を高める工夫や高齢者のニーズに応じて、新たなサービスを検討できるよう、体制を整備していく必要があります。</p>																				
第8期における具体的な取組																				
<p>○関係団体との連携による介護予防活動への支援</p> <p>○地域包括支援センターの体制強化</p> <p>○生活支援体制整備事業の推進</p>																				
目標（事業内容、指標等）																				
<p>(2) 介護予防の啓発強化</p> <p>② 関係団体との連携による介護予防活動への支援</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 15%;">令和3年度</th> <th style="width: 15%;">令和4年度</th> <th style="width: 10%;">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防活動応援事業団体数 (団体)</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">35</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> <tr> <td>介護予防活動応援事業参加 実人数 (人)</td> <td style="text-align: center;">300</td> <td style="text-align: center;">330</td> <td style="text-align: center;">360</td> </tr> <tr> <td>地域リハビリテーション活動支援事業 リハビリ職派遣人数 (人)</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>地域リハビリテーション活動支援事業 リハビリ職派遣回数 (回)</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	介護予防活動応援事業団体数 (団体)	30	35	40	介護予防活動応援事業参加 実人数 (人)	300	330	360	地域リハビリテーション活動支援事業 リハビリ職派遣人数 (人)	20	20	20	地域リハビリテーション活動支援事業 リハビリ職派遣回数 (回)	10	10	10
	令和3年度	令和4年度	令和5年度																	
介護予防活動応援事業団体数 (団体)	30	35	40																	
介護予防活動応援事業参加 実人数 (人)	300	330	360																	
地域リハビリテーション活動支援事業 リハビリ職派遣人数 (人)	20	20	20																	
地域リハビリテーション活動支援事業 リハビリ職派遣回数 (回)	10	10	10																	

② 生活支援体制整備事業の推進

ア. 生活支援体制整備事業

a. 生活支援コーディネーターの活動強化

第2層（自治センター単位）における協議体の設置に向け、住民により身近な範囲で生活支援サービスが提供できるよう、生活支援コーディネーターが支援します。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
第1層	生活支援コーディネーターの配置状況（人）	2	2	2
	協議体数	1	1	1
第2層	生活支援コーディネーターの配置状況（人）	1	3	5
	協議体数	1	3	5
地域づくりに関する住民向け研修会		1	3	5
地域づくりに関する職員向け研修会		1	1	1

目標の評価方法

● 時点

■ 中間見直しあり

□ 実績評価のみ

● 評価の方法

- ・ 介護予防に資する住民主体の通いの場への65歳以上参加割合の増加
- ・ 生活支援コーディネーター及び協議体の設置状況

2 第8期実績

第8期における実施内容及び自己評価結果

① 介護予防の啓発強化

関係団体との連携による介護予防活動への支援

ア. 介護予防活動応援事業

住民が、気軽に気楽に介護予防活動をすることができるよう、月1回以上活動に取り組む4人以上の住民自主グループに対し、健康づくりと活動の継続を支援しました。

数値目標	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
参加団体数	30	36	120.0%	35	37	105.7%	40	41	102.5%
参加実人数 (人)	300	485	161.7%	330	571	173.0%	360	580	161.1%

【令和5年度自己評価結果：◎】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、活動再開するグループや新たに活動を開始するグループがみられる等、住民の主体的な活動が増加しました。

イ. 地域リハビリテーション活動支援事業

住民主体の通いの場での取り組みを支援するため、地域のリハビリテーション専門職を派遣し、体操指導や体力測定、評価を実施しました。

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
リハビリ職派遣人数(人)	20	1	5.0%	20	12	60.0%	20	20	100.0%
リハビリ職派遣回数(回)	10	1	10.0%	10	10	100.0%	10	14	140.0%

【令和5年度自己評価結果：◎】

専門職派遣協力機関からの派遣により体操指導等を実施し、自主活動グループの活動を支援しました。

② 多様な生活支援、サービスの充実強化

生活支援体制整備事業の推進

高齢者が安心して暮らし続けることができる地域、特に支え合いによる地域づくりを進めるため、生活支援コーディネーターを配置し、多様な主体との情報共有や連携を通して、体制整備を図りました。

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
【第1層】 生活支援コー ディネーター 人数（人）	2	2	100.0%	2	1	50.0%	2	2	100.0%
【第1層】 協議体数	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%
【第2層】 生活支援コー ディネーター 人数（人）	1	1	100.0%	3	0	0.0%	5	0	0.0%
【第2層】 協議体数	1	1	100.0%	3	0	0.0%	5	0	0.0%
地域づくりに 関する住民向 け研修会（回）	1	0	0.0%	1	1	100.0%	5	0	0.0%
地域づくりに 関する職員向 け研修会（回）	1	0	0.0%	1	0	0.0%	1	1	100.0%

【令和5年度自己評価結果：○】

第1層生活支援コーディネーターを社会福祉協議会に2名配置し、より地域の状況を把握することができました。第1層協議体として、毎月市と生活支援コーディネーターの打合せを行ったことで、市がコーディネーターの活動を一緒に考える機会が作られ、事業推進に寄与しました。

また、支え合いによる地域づくりに関する研修会を職員向けに開催することで、市の進むべき方向性を参加者同士で共有することができました。

課題と対応

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、生活支援体制の整備が急務であり、その状況把握や課題の解決に向け、生活支援コーディネーター活動の充実を図る必要があります。

そこで、市職員が第1層生活支援コーディネーターの役割を担い、これまでの社会福祉協議会の生活支援コーディネーターが第2層の役割を担うこととし、新たな生活支援サービスの仕組みを構築します。

また、地域における支え合い意識の向上を目指し、地域づくりに関する研修会等をとおして、市民及び職員へ当事業の考え方や目指すべき方向性を共有します。

**「取組と目標」に対する自己評価 令和5年度実績評価シート
(角田市)**

タイトル	認知症施策の推進
------	----------

1 第8期介護保険事業計画に記載された内容

現状と課題			
<p>〔現状〕</p> <p>○介護者が「認知症状への対応」について不安に感じているというアンケート結果が多い一方で、認知症に関する相談窓口を知らない方も多くなっています。</p> <p>〔課題〕</p> <p>○認知症高齢者やその家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」の施策を推進する必要があります。</p> <p>○居場所づくりや日常生活をサポートするため、地域における認知症高齢者への支援体制の強化が必要です。</p>			
第8期における具体的な取組			
<p>○認知症への理解促進</p> <p>○早期発見、早期対応のための体制づくり</p> <p>○認知症見守り体制の構築</p> <p>○介護者へのサポート強化</p>			
目標（事業内容、指標等）			
<p>早期発見・早期対応のための体制づくり</p> <p>ア. 初期集中支援チームの充実・強化</p>			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症初期集中支援事業対象 実人数（人）	7	7	7
イ. 認知症見守り体制の整備			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
チームオレンジ登録者数（人）	20	25	30
チームオレンジ活動者数（人）	10	15	20
QRコード活用事業登録者数 （人）	10	10	10
GPS端末機利用促進事業登録 者数（人）	-	5	5
目標の評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> ■ 中間見直しあり □ 実績評価のみ ● 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> 計画値の達成の可否で判断します。 			

2 第8期実績

第8期における実施内容及び自己評価結果

① 早期発見・早期対応のための体制づくり

認知症初期集中支援推進事業

認知症の疑いがある高齢者に対して、早期に必要な医療・サービス等が提供できるよう、高齢者やその家族、市医師会、認知症サポート医等との連携体制の強化に取り組みました。

数値目標	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
認知症初期集中支援事業対象実人数(人)	7	9	128.6%	7	1	14.3%	7	1	14.3%

② 認知症見守り体制の整備

認知症高齢者の見守り体制を強化するため、地域や関係機関と連携し、見守りネットワークを構築するとともに、認知症高齢者等見守りQRコード等の活用により早期発見できる仕組みを整えました。

また、認知症サポーターが中心となり、地域でチームとして認知症の人やその家族を支える仕組み(チームオレンジ)を整備しました。

数値目標	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
チームオレンジ登録者(人)	20	0	0.0%	25	9	36.0%	30	9	30.0%
チームオレンジ活動者(人)	10	0	0.0%	15	8	53.3%	20	9	45.0%
QRコード活用事業登録者(人)	10	4	40.0%	10	5	50.0%	10	5	50.0%

【令和5年度自己評価結果：○】

・認知症の疑いのある高齢者に対して、複数の専門職が関わり、認知症の専門医による鑑別診断等をふまえて観察・評価を行いました。また、本人や家族へ初期段階の支援を包括的・集中的に行うことができ、自立生活のサポートにつながりました。

・チームオレンジのメンバーが認知症サポーター養成講座やアルツハイマーデー等に積極的に参加し、チームオレンジとして地域での活動の機会を広げることができました。

・認知症カフェの継続した開催により参加者が増え、地域住民との交流をとおして、本人が安心して暮らし続けられる地域づくりに努めました。

課題と対応

認知症本人が安心して暮らし続けられる地域を目指して、引き続き認知症サポーターの養成や、チームオレンジの普及・啓発を行い、さらに、これまでの課題である認知症本人を介護する家族の支援について検討していく必要があります。

また、今後は、国・県等が作成する認知症基本法に基づく認知症施策推進基本計画の動向を見ながら、共生社会の実現に向け現行の認知症施策の評価や見直しを行います。

**「取組と目標」に対する自己評価 令和5年度実績評価シート
(角田市)**

タイトル	介護サービスの充実（適正化）
------	----------------

1 第8期介護保険事業計画に記載された内容

現状と課題																
<p>〔現状〕</p> <p>○適性かつ公平な要介護認定、適切なサービスの確保のため介護給付費適正化事業に取り組んでいます。</p> <p>〔課題〕</p> <p>○利用者の状態に即した適切なサービスの提供となるよう、介護給付費適正化事業への取り組みを強化する必要があります。</p>																
第8期における具体的な取組																
<p>○介護保険制度の周知</p> <p>○調査員に対して「要介護認定業務分析データ」を活用した研修・指導を行う</p> <p>○ケアプラン点検の実施</p> <p>○住宅改修の点検及び福祉用具購入・貸与調査の実施</p> <p>○縦覧点検・医療情報との突合の実施</p> <p>○介護給付費通知の送付</p> <p>○実地指導及び集団指導等を実施</p>																
目標（事業内容、指標等）																
<p>①介護保険制度の周知・健全な運営</p> <p>イ. 適切な要介護（要支援）認定の実施（要介護認定の適正化）</p> <p>認定調査項目別の選択状況について、全国の被保険者と比較した分析などを行うとともに、要介護認定調査の平準化及び認定調査の質を確保するために調査員一人ひとりに対して「要介護認定業務分析データ」を活用した研修・指導を行い、正確な認定調査と審査会運営に努めます。</p> <p>また、委託調査結果の点検・評価を実施し、委託先との連絡・調整を密にし、迅速で正確な調査が行われるようにします。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定調査票点検件数（件）</td> <td>全件</td> <td>全件</td> <td>全件</td> </tr> <tr> <td>調査員現任研修参加回数（回）</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>調査員内部研修開催回数（回）</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ. 介護給付の適正化</p> <p>a. ケアプラン点検</p> <p>「自立支援に資するケアマネジメント」の実践に向けた取り組みの支援を目指し、基本となる事項</p>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	認定調査票点検件数（件）	全件	全件	全件	調査員現任研修参加回数（回）	1	1	1	調査員内部研修開催回数（回）	2	2	2
	令和3年度	令和4年度	令和5年度													
認定調査票点検件数（件）	全件	全件	全件													
調査員現任研修参加回数（回）	1	1	1													
調査員内部研修開催回数（回）	2	2	2													

を検証確認しながら、介護支援専門員の「気づき」を促すとともに、明らかになった改善すべき事項の伝達、ケアプランの改善状況を確認し継続的にケアプランの質の向上を図ります。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ケアプラン点検件数（件）	30	30	30

b. 住宅改修の点検

住宅改修施工前における見積書、図面、写真などの確認、利用者宅への訪問調査、住宅改修施工後における工事内訳書、竣工写真、竣工後の訪問調査を継続して実施します。

また、利用者の状態に即した適切な住宅改修となるよう、県仙南保健福祉事務所リハビリテーション相談支援事業の活用など、住宅改修前のリハビリテーション専門職の関与を推進します。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事前・事後書類審査（件）	全件	全件	全件
（再掲）改修前訪問調査件数	6	6	6
（再掲）改修後訪問調査件数	3	3	3

c. 福祉用具購入・貸与調査

福祉用具利用者などに対し訪問調査を行って、福祉用具の必要性や利用状況などを点検するよう努めます。

また、県仙南保健福祉事務所リハビリテーション相談支援事業などを活用し、利用者の身体の状態に即した適切な福祉用具の選定、適合のための支援を推進します。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訪問調査件数（件）	5	5	5

d. 縦覧点検・医療情報との突合

宮城県国民健康保険団体連合会へ委託し、提供されたサービスの整合性、算定回数の点検を行うとともに、受給者の医療情報と介護保険の給付状況を突合し、給付日数や提供されたサービスの点検を行い請求内容の誤りなどを早期に発見し、介護給付費の適正化を推進します。

e. 介護給付費通知

介護給付費通知の際に説明のリーフレットなどを同封し、適切なサービスの利用と提供を普及啓発するとともに、自ら受けているサービスを改めて確認し、サービスの提供の適正化を推進します。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護給付費通知（回/年）	1	1	1

②介護サービスの質の向上及び人材確保への支援

ア. サービス事業者への指導・監督強化

介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を送ることができるように指定地域密着型（介護予防）サービス事業者及び指定居宅介護支援事業所に対して、実地指導及び集団指導等を実施します。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実地指導（事業所数）	5	8	6
集団指導 実施回数（回）	1	1	1

目標の評価方法

● 時点

■ 中間見直しあり

□ 実績評価のみ

● 評価の方法

- ・ 認定調査票点検件数、調査員現任研修参加回数及び参加人数、調査員内部研修開催回数及び参加人数を計上
- ・ ケアプラン点検件数（介護保険事業計画には介護分のみ記載しているが、評価は予防支援も計上）及びケアプラン面談点検件数を計上
- ・ 住宅改修及び福祉用具購入・貸与に係る訪問調査件数及び仙南保健福祉事務所リハビリテーション相談支援事業利用件数
- ・ 縦覧点検・医療情報との突合件数
- ・ 介護給付費通知回数
- ・ 運営指導、集団指導実施回数

2 第8期実績

第8期における実施内容及び自己評価結果

① 介護保険制度の周知・健全な運営

ア. 適切な要介護（要支援）認定の実施（要介護認定の適正化）

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
認定調査票点検件数（件）	全件	全件	100.0%	全件	全件	100.0%	全件	全件	100.0%
調査員現任研修参加回数（回）	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%
調査員内部研修開催回数（回）	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%

【令和5年度自己評価結果：◎】

- ・職員による直営分も含めた認定調査票の全件点検を行いました。
- ・調査員現任研修については、新型コロナウイルス感染症対策のためWeb受講しました。
- ・調査員内部研修において「要介護認定業務分析データ」を活用し、全国・県平均値と乖離のある調査項目について、地域分析を行うとともに、調査項目の定義の再確認を行いました。

イ. 介護給付の適正化

a. ケアプラン点検

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
ケアプラン点検（件）（居宅サービス）	30	33	110.0%	30	22	73.3%	30	24	80.0%
うち面談点検（件）	-	0	-	-	0	-	-	0	-

【令和5年度自己評価結果：◎】

- ・介護保険法の理念に基づいた高齢者の自立支援、重度化防止等に資するケアマネジメントの実践のための「ケアマネジメントに関する基本指針」について、集団指導の際に周知を行いました。
- ・地域包括支援センターが委託している介護予防サービス計画書については直営の地域包括支援センター職員が、直営分の介護予防サービス計画書については主任介護支援専門員及び介護予防支援専門員が自立支援の視点に基づいて点検を行っています。
- ・居宅サービス計画については、角田市ケアマネジャー連絡会に所属するケアマネジャーのプランを抽出し、ケアマネジメントのプロセスを踏まえ「自立支援」に資する適切なプランになっているかを確認しました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、面談によるケアプラン点検については、実施を見送りました。

b. 住宅改修の点検

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
事前・事後書類審査（件）	全件	72	100.0%	全件	66	100.0%	全件	61	100.0%
（再掲）改修前訪問調査件数（件）	6	0	0.0%	6	0	0.0%	6	0	0.0%
（再掲）改修後訪問調査件数（件）	6	0	0.0%	6	0	0.0%	6	0	0.0%

【令和5年度自己評価結果：○】

- ・ケアマネジャー連絡会において、県仙南保健福祉事務所リハビリテーション相談支援事業の活用を周知し、住宅改修前のリハビリテーション専門職の関与を推進しています。
- ・事前・事後書類審査は全件実施しました。
- ・担当職員の兼務により、改修前後の訪問調査件数の目標達成が難しい状況です。

c. 福祉用具購入・貸与調査

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
訪問調査件数（件）	5	3	60.0%	5	1	20.0%	5	0	0.0%

【令和5年度自己評価結果：×】

- ・ケアマネジャー連絡会において、県仙南保健福祉事務所リハビリテーション相談支援事業の活用を周知し、住宅改修前のリハビリテーション専門職の関与を推進しています。
- ・軽度者の福祉用具貸与に係るサービス担当者会議に参加し、利用者の自立支援を阻害するおそれがないか、利用の妥当性、利用者の心身状況に即した適切な福祉用具の選定となっているかの確認を行いました。

d. 縦覧点検・医療情報との突合

宮城県国民健康保険団体連合会へ委託し、提供されたサービスの整合性、算定回数の点検を行うとともに、受給者の医療情報と介護保険の給付状況を突合し、給付日数や提供されたサービスの点検を行い、請求内容の誤りなどを早期に発見し、介護給付費の適正化を図りました。

【令和5年度自己評価結果：◎】

- ・宮城県国民健康保険団体連合会へ委託し、提供されたサービスの整合性、算定回数の点検を行うとともに、受給者の医療情報と介護保険の給付状況を突合し、給付日数や提供されたサービスの点検を行いました。

e. 介護給付費通知

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
介護給付費通知（回/年）	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%

【令和5年度自己評価結果：◎】

- ・介護保険給付費通知書を送付することにより、自ら受けているサービスを改めて確認し、サービスの提供の適正化を図りました。
- ・介護保険の目的及び自立支援に資するサービス利用のしかたのチラシを同封し、適正なサービス利用で自立した生活を目指すよう周知を図りました。

② 介護サービスの質の向上及び人材確保への支援

サービス事業者への指導・監督強化

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
運営指導（事業所数）	5	3	60.0%	8	4	50.0%	6	3	50.0%
集団指導実施回数	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	2	200.0%

【令和5年度自己評価結果：◎】

- ・運営指導を市内3事業所に対し実施しました。
- ・集団指導は計画値では1回としていますが、令和6年度報酬改定の改定事項を周知するため、2回実施しました。

課題と対応

ア. 適切な要介護（要支援）認定の実施（要介護認定の適正化）

【課題】

- ・全国・県平均値と乖離のある調査項目があるため、重度化の傾向があります。
- ・65歳以上人口に占める85歳以上人口の割合が全国平均よりも高いことも重度化の要因の一つとなっています。

【対応策】

- ・今後も認定調査票の全件点検を行うとともに、「要介護認定業務分析データ」を活用した認定

調査員の内部研修を継続して実施し、全国平均と乖離のある項目について調査項目の定義の再確認を行い正確な認定調査に努めます。

・全国・県平均値と乖離のある調査項目の分析を行い、地域特性及び地域課題の把握に努めます。

イ. 介護給付の適正化

a. ケアプラン点検

【課題】

・自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントの実践のためには、高齢者の要介護状態や生きがい、生活歴、生活状況等を的確に把握し、本人の意欲を高める支援を提供することが重要です。しかし、必要な情報を把握していてもアセスメントに反映されていない場合があります。

・書面審査だけでは、確認しにくい部分もあり、気づきにつながりにくいところがあります。

【対応策】

・角田市ケアマネジャー連絡会に所属するケアマネジャー全員分の書面によるケアプラン点検と合わせて、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮しつつ、可能であれば面談によるケアプラン点検等を継続して行い「自立支援・重度化防止」に資する介護サービスとなるよう支援していきます。

・日常生活動作（掃除、調理、洗濯など）を行うこと、本人ができることを見つけ、家庭などで役割を持つことで本人の生きがいとなり、心身の機能低下の予防につながることを住民に対して継続して周知していきます。

b. 住宅改修の点検 及び c. 福祉用具購入・貸与調査

【課題】

・県仙南保健福祉事務所リハビリテーション相談支援事業の活用が少ない状況でした。

・担当職員の兼務により、住宅改修前後の訪問調査を行うことができませんでした。

【対応策】

・ケアマネジャー連絡会において引き続き周知を行っていきます。

・業務の効率化及び係員相互の業務の共有化を図り、訪問調査を実施できる体制づくりを行います。

d. 縦覧点検・医療情報との突合

【対応策】

・今後も宮城県国民健康保険団体連合会へ委託し、提供されたサービスの整合性、算定回数の点検を行うとともに、受給者の医療情報と介護保険の給付状況を突合し、給付日数や提供されたサービスの点検を行い請求内容の誤りなどを早期に発見し、介護給付費の適正化を図ります。

e. 介護給付費通知

【対応策】

・介護給付適正化主要5事業が見直され、令和6年度より介護保険給付費通知が主要事業から外れることとなったため、令和5年度をもって廃止します。